

第○学年音楽科学習指導案（案）

○○○学校

○年○組 ○名

指導者 ○○ ○○

1 題材 歌で自分の思いを伝えよう

2 題材の目標

- (1) (知識及び技能) の内容で
- (2) (思考力・判断力・表現力) の内容で
- (3) (主体的に学習に取り組む態度) の内容で

3 教材

4 題材について

① (1) ~ (3) のような項目を入れて項目別にまとめて書く。

(1) 児童（生徒）の実態

(2) 教材について

(3) 指導にあたって

5 新学習指導要領との関連（* 高等学校は現行でよい）

② 新学習指導要領の内容との関連について「一体的」に書く。

「一体的に」とは⇒ア（思考力・判断力・表現力）、イ（知識）、ウ（理解）（鑑賞はア、イ）の内容を全て入れる。単独では扱わない。

(A 表現 B 鑑賞のそれぞれの例：第3学年及び第4学年)

A 表現

(1) 「歌唱」の場合

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。

イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。

ウ (イ)呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能。

(2) 「器楽」の場合

ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。

イ (イ)楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり

ウ (ア)範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能

(イ)音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能

(3) 「音楽づくり」の場合

ア 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること

イ (ア)いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴

(イ)音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴

ウ (イ)音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能

8 本時の学習

(1) 目標

(2) 展開

学 習 活 動	○指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法	要 素
1 既習曲を歌う。	○楽しく学習に取り組めるような雰囲気づくりをする。		
2 本時のめあてをつかむ。	○前時を振り返り、本時のめあてを確認させる。		
曲からのメッセージを感じながら、気持ちをこめて二部合唱をしよう			
3 グループに分かれて、表現の工夫をする。	○それぞれの思いや意図を大切にし、自分たちのイメージに合うような工夫ができるように支援する。	◇歌詞や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うか、思いや意図をもって表現している。 (創一①) ◆活動の様子や発言の観察	音楽の縦と横の関係 フレーズ
4 全体で二部合唱をする。	○思いをこめて歌えるよう助言する。		
5 本時のまとめをする。	○次時の学習への意欲付けをする。		

(3) 評価及び指導（手だて）

A（十分満足できる） と判断される具体的な状況	
B（おおむね満足できる） 状況を実現するための具体的な指導（手だて）	

(4) 板書計画

めあて 曲からのメッセージを感じながら、気持ちを込めて二部合唱しよう	
授業の流れ	
1 楽しく歌おう	
2 めあての確認をしよう	
3 グループ活動をしよう	
4 全体で二部合唱しよう	児童の思いや考えを 書き込んだ楽譜
5 まとめをしよう	歌ってみての感想